

「二十一世紀に 生き生き生きる
経営基盤創り。」

ありがとう



2015.7
VOL.45

●7月例会ご報告
●討議会の報告

発行責任者/山田 淳二 西岡 伸悟

7月例会ご報告

2015年7月6日(月)

於：(株)日本創造教育研究所 広島営業所

ボトムアップの組織論 自立した“個”が強い組織をつくる!!

広島安芸南高校サッカー一部監督 (ボトムアップパーソンズ協会代表理事) 畑 喜美夫 氏

昨年の広島西経営研究会の例会でとても反響があり、会員からの要望が強かったため、この度広島経営研究会でも広島安芸南高校サッカー一部監督(ボトムアップパーソンズ協会代表理事)の畑喜美夫氏を御招きして例会が行われました。

無名の高校をトップダウンではなく『ボトムアップ』の育成方法で日本一のチームに育て上げたことでサッカー界のみならずメディア、企業からも注目されておられます。偉業を成し遂げてこられた畑氏が、新しく赴任した高校のサッカー一部で、まず行うことが毎日の練習を週二回にして、身の回りの整理整頓を徹底させることから始めるのです。

練習量を減らし整理整頓を行うこととチームを強くすることが結びつかないのではと感じるのが一般的だと思います。しかし、畑氏は「量よりも質」「勝つことよりも道徳心・倫理観」が大切だということです。そして、社会に通用する『人間力』を持った選手に育てたい、といったミッションを掲げて指導されているのです。

我々中小企業でも通ずるものがあるのではないのでしょうか。売上目標を達成することが目的であれば、それ以上の成果は期待できず限界がやってくるはずですが、しかし、生産性



を高め企業目的を果たすためには、社員さん一人ひとりの自主性や能力を活かす環境づくりが求められてきます。

また畑氏は、選手の自主性を高めるために、「一人一役制」といった制度を活用して選手たち全員に役割を持たせているのです。そうすることで一人ひとりに責任感・遣り甲斐が芽生え、自主性を持った選手が育っていくのです。

このように、畑氏は『ボトムアップ理論』がこれからの日本を支えていくための新たなモデルになると可能性を示してくれました。

広報委員 山口 大介(椋源)



討議会の報告 7月9日(木)



今回は会員21名オブザーバー11名の計32名の参加でした。酒商 山田さんから5名、フレームさんから4名の社員さんが参加され、盛り上げていただきました。グループ発表ではオブザーバーの方々が熱く感想を述べられました。初参加の社員さんもみなさんが自分たちの発表をよく聴いて下さり、すごく喜んでおられました。

会員さんが不参加でも、ぜひ、一度、社員さんを送り出してあげて下さい。

討議会の日程: 8月27日(木) 19時より 総務委員 松本 竜吾